

球陽第 3 2 7 2 号

令和 6 年 2 月 2 日

高校1・2年保護者各位

沖縄県立球陽高等学校

校長 田名 裕治

身なりに関する校則の試験的緩和の実施(2/20~3/21)について

時節の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

コロナ禍を経験し、教育環境が大きく変化した現在、本校では文部科学省の生徒指導提要(2022)に従い、校則の見直しを検討しています。また、今年度の生徒の課題探究テーマにおいて、身なりの校則に関するものが複数あり、身なりの校則の緩和と意識の変化を検証したいという生徒の声もありました。そのため、これらを検証するプロセスの一環として、下記の期間中、身なりに関する校則を一時的に緩和することにしました。

本施行期間は、校則見直しのためだけでなく、生徒たちが自らの判断で適切な服装を選び、集団生活におけるルールを自分たちで考え、責任をもって行動する機会でもあります。この期間を通じて、生徒たちの自律性の育成と、校則の見直しについての議論を進めていく所存です。

保護者の皆様には、この取り組みにご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。貴重なご意見を賜る機会を設ける予定です。

【実施期間・対象】

令和6年 2月20日(火)~3月21日(木) 対象: 高校1・2年生

※ 2/13~2/28は、高校3年生は進学就職準備期間となっており、高校1・2年生のみの登校となります。

【身なりの緩和の事項】

- ・ メイク、服装、ピアス等、髪型 など

【制限される事項】

- ・ ツメを伸ばすことや付け爪は、体育や運動部活動等での安全面を考慮して禁止
- ・ 体育の時間は、体育着を着用すること
- ・ 露出の多い服装
- ・ 体育や家庭などの実技・実習を伴う時間に装飾品を身につけること



【注意すべき点】

- ・ 新年度の4月以降は従来の校則で運営するため、元に戻すことができる範囲で行うこと。
 - ・ 高校3年生の卒業式前日・当日(2/29, 3/1)も、従来の校則に従う。
- 身なりの校則を見直す場合は、次年度の生徒総会を通して審議する予定です。
- 試験期間の身なりについては、お子さまと十分に話し合い、双方合意の上で実施されますよう、よろしくお願いいたします。

背景：これからの学校教育で求められる資質・能力とは？

これからの児童生徒は、少子高齢化社会の出現、災害や感染症等の不測の社会的危機との遭遇、高度情報化社会での知識の刷新や生成 AI の活用、ICT 活用能力の習得、外国の人々を含め多様な他者との共生と協働等、予測困難な変化や急速に進行する多様化に対応して行かなければなりません。

このように急激に変化する時代の中で、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められています(平成 31 年改訂学習指導要領より)。

12 年ぶりの「生徒指導提要」の改訂

このような時代の変化に伴い、令和 4 年 12 月に「生徒指導提要」が 12 年ぶりに改訂されました。その中で、次のことが生徒指導の目標に掲げられています。

児童生徒が、深い自己理解に基づき、『何をしたいのか』『何をすべきか』、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択、設定してこの目標の達成のため、自発的、自律的、かつ他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力、すなわち『自己指導能力』を獲得することが目指される。

全国的な校則の見直しの動き

これらのことを踏まえ、全国の多くの学校で校則を見直す機運が高まっています。生徒指導提要(改訂版)においても校則の見直しについて触れられており、改めて学校の教育目的に照らして絶えず見直しを行うことが求められています。また、校則の見直しの過程で児童生徒自身が参画することについても明記しています。全国的にも身なりに関して見直す高校もみられ、生徒とともに、校則の意義について考えるきっかけとなっています。



本校の「身なりに関する課題探究テーマ」について

本校は SSH 指定校であり、授業の一環として科学的研究活動や課題探究活動を行っています。国際英語科 2 年「国際探究Ⅱ」の課題探究の中で、2つのチームが身なりに関する校則について探究しています。

●課題探究タイトル「メイク you happy!」

- 普段の学校生活にもメイクを取り入れることで 生徒のモチベーションや自己肯定感を高めることができるのではないかと
- 「高校生らしく」「球陽生らしく」「女性らしく・男らしく」ではなく、「自分らしく」とは何かを考える一つの手段

●課題探究タイトル「根拠のない校則をなくそう」

- 多様性・個性を尊重し、時代に合った校則を作り、同調圧力を解消させ、考える力を育むために校則を変えたい!